



MBニュース



【新物ぎんなん情報】

丸松物産株式会社

弊社中国工場より、今年の新物ぎんなんに関する情報を入手致しましたので、ご報告致します。

仕入の主産地である中国の広西地域では、例年通りの9月上旬にぎんなんの収穫・加工が始まり、10月中旬時点におけるサイズ別原料取引価格は昨年比で、Sサイズは並み、仕入のメインとなるMサイズはやや値下がり、Lサイズは若干の値上げとなっています。

今年の新物ぎんなんの特徴は、水分含有率の多い不良果のものが全体的に目立つことから、歩留まりが低いことが挙げられます。

不良果が目立つ主な原因としては、収穫前の7月～8月の期間での雨天が多く、更にその期間内において1週間連続雨天という異常な週が2回あるなど、銀杏の生育に対して水分過多となってしまう事が考えられます。

またその一方で、ぎんなんを収穫する農家では、上述した原料取引価格に対して儲けがあまり期待出来ないとの理由もあり、収穫意欲が低迷しているような状況でもあります。

11月上旬頃にはその生産が終了するものと考えられますが、10月時点における生産量の予測は昨年並みの約1,500MTに留まるものと予想されています。ちなみにその他の産地である湖北省、山東省などでは昨年比でやや増加となりそうです。

中国工場では既に新物の加工を開始しましたが、入荷した新物原料の歩留まりが低い為、全体的な生産加工コストを抑えることは非常に厳しい状況とのことです。

【中国「ダブル11」到来 宅配便5億個超を予測】

年に一度の宅配業務最盛期がまもなく訪れる。国家郵政局は、今年「ダブル11」(11月11日～16日。11日の独身の日に合わせてECサイト各社が割引セールを繰り広げる)期間中に宅配業務がピークを迎え、宅配便取扱量は昨年同期比5割増の5億個を超え、1日の取扱量は最高で昨年同期比38.5%増の9000万個に上ると予測している。人民日報が伝えた。

この商戦を宅配業者はてぐすねを引いて待ち構えている。物流会社・菜鸟ネットワークの情報によると、取扱個数の増加に対応するため、各宅配業者は従業員を25万人以上増員させ、100カ所余りの物流センターを拡大、作業スペースを185万平方メートル拡張し、幹線車両も1万2千台以上新規購入したという。さらに、宅配業者は高効率の物流資源である航路の陣取り合戦をも繰り広げている。順豊(SFエクスプレス)は、すでに専用航路を28本新規増設、全1422航路を使用して空輸を展開する。同じく圓通は101本を新規増設、申通は利用者数の少ない航路をも活用して荷物の分割輸送を行うという。菜鸟ネットワークはすでに世界の物流パートナーと連携し、アジア、ヨーロッパ、オーストラリア、南北アメリカなどの大陸をつなぐグローバルな備蓄ネットワーク、および幹線航路資源システム、輸送配送資源を整えている。(編集IM)

「人民網日本語版」2014年10月17日より抜粋

【新商品情報】

	商品名	極太ロング水煮メンマ 1kg	
	商品説明	多くのユーザー様からのご要望があり、ついに極太メンマの水煮シリーズが新発売！現在、塩メンマを使用しているお客様で塩抜きが手間等、お悩みのお客様には是非一度、お試し下さい	
	主要原材料	メンマ	
	賞味期限	製造日より6ヶ月	
	使用上の注意	開封後は10℃以下に冷蔵して、5日以内にお召し上がりください。	
			盛付け例